

横浜市議員(都筑区)

もちづき こうとく

望月 高德

政務活動レポート

みんなの声の広場

アンケート版 第2号

討議資料



望月高德(もちづきこうとく)プロフィール

早稲田大学政治経済学部卒。民間企業や学習塾経営、専門学校講師ほかを経て平成23年4月より現職。

横浜市は370万人が暮らす日本最大の都市です。日本全体では、すでに人口減少時代に入ったといわれていますが、将来人口推計では、本市の人口のピークは2020年頃で、その後、減少に転じると予測されています。年少人口(0~14歳)や生産年齢人口(15~64歳)の割合は減少していきますが、逆に高齢者人口(65歳以上)の割合は増加していきます。現在、約25%の高齢化率が2060年頃には、推計人口約320万人で35%以上の高齢化率になる見込みです。

生産年齢を中心に、本市の人口が減るということは、市民の税や社会保障費の負担能力が減っていくことを意味します。当然そうした社会状況に対する正しい時代認識の下、今をどう過ごすかだけでなく、将来世代に責任を持った今後の施策の選択と実行、市経営をしていかなければいけないと考えます。

今までは国も地方も、必要なものからそうでないものまで、政治[議員]の側があればこれもと行政サービスを安易に提供し、収入に見合わない分は常に問題を先送りして、後年度負担にしてきました。でもそうした行政運営は、限界にきています。無駄をなくして、行政効率を向上させ、公共資源を適切に配分できる横浜市にしなければいけません。医療や介護そして福祉、子育てや教育、公共建築物の設置や維持管理、安全な街づくり。必要な施策を行うためにこそ、ありとあらゆることの見直し、

仕切り直しが迫られています。行政がすべきことは何なのか考え直し、ひとつひとつの行政サービスについて受益と負担のことを考えていかなければいけない時に来ていると思います。

私は、日ごろ区内を原付バイクや徒歩で回り、皆さまからの声を頂いています。区内を巡っていると、区政誕生から20年以上が経過した中で、老朽化し傷みが出始めた道路や施設が目に入ります。順次、修繕を行政に求めておりますが、今でも時間を要する時があります。長期的に見ると、ますますその傾向が強まると思います。

都筑区をなんだかさびれた元気のない街にするわけにいきません。必要なインフラや公共施設の整備維持がしっかり行き届いた元気あふれ、老若男女が住みやすい街でなければいけません。そして横浜全体が、いつの時代も「住んでよかった」とすべての世代に喜んでもらえる都市であり続けさせたいです。

これまで以上に皆さまの声を“活動の羅針盤”として重視し、市民の知恵と力をお借りしながら、大胆で柔軟な発想で議員の責務を果たしていきます。是非、皆さまのお声をお聞かせ下さい。

一緒に横浜の未来を創りましょう!

平成28年3月15日 横浜市議員 望月 高德

勇気ある変革を目指す

望月こうとく

横浜市議員(都筑区)



望月こうとく政務活動事務所

TEL&FAX 045-532-9089
E-mail info@khotoku.net

くらしの救急ガイド

救急相談センター #7119

(携帯電話、PHS、プッシュ回線の固定電話)

または ☎045-222-7119

(すべての電話でご利用いただけます)



横浜市歯科保健医療センター

休日・夜間の歯痛には横浜市歯科保健医療センター

TEL 045-201-7737

郵便番号

2248790

受取人

横浜市都筑区中川中央1-24-17
ペルー・ジュエクスエア2F
横浜市議員もちづき高德
政務活動事務所 行

料金受取人私郵便



差出有効期限
平成29年
3月31日まで
(切手不要)



▼みなさまの声をお聞かせください。